

四国歯学会 第55回例会・第38回総会 プログラム

日時:2019年9月26日(木)16:25より

会場:徳島大学歯学部大講義室(4階)

四国歯学会

- ※ 日本歯科医師会生涯研修事業の単位に認定されております。
- ※ 大学院先端口腔科学特論の時間数に含まれます。履修手帳をご持参下さい。

連絡先

四国歯学会学術担当

徳島大学 大学院医歯薬学研究部 口腔科学部門 臨床歯学系

小児歯科学分野

岩本 勉, 赤澤 友基

TEL 088(633)7359

E-mail: akazawa.yuki@tokushima-u.ac.jp

ポスター閲覧・討論

15:00 - 16:20 ポスター展示
15:50 - 16:20 ポスター討論

四国歯学会第 38 回総会

16:25 開会の辞 宮本洋二 会長
16:30 - 16:50 総会

四国歯学会第 55 回例会

ポスター発表

座長 山本朗仁

16:55 - 17:00

P-1 マダイ稚魚期における歯の形態形成

○後藤 匡紀¹、畑田 祐佳里¹、宮川 結衣¹、守田 剛²、神尾 強司²、
角田 佳折²、馬場 麻人²

1 徳島大学歯学部歯学科 4年、

2 徳島大学大学院医歯薬学研究部口腔顎顔面形態学分野

一般講演

座長 平尾功治

17:00 - 17:20 口腔内清掃による口臭値と口腔内細菌数指標の変化

○大毛 健一郎¹、○野上 幸裕¹、玉木 直文²、三木 かなめ²
伊藤 博夫²

1 徳島大学歯学部歯学科 4年

2 徳島大学大学院医歯薬学研究部予防歯学分野

緑膿菌 PA2384 遺伝子の抗菌薬抵抗性への関与

○喜田悠太¹、Muhammad Reza Pahlevi²、村上圭史²、
廣島佑香²、藤猪英樹²

1 徳島大学歯学部歯学科4年

2 徳島大学大学院医歯薬学研究部口腔微生物学分野

特別講演

座長 伊賀弘起

- 17:20 – 17:50 歯周病原菌感染マクロファージが放出する膜小胞の臓器移行とその障害性について
○吉田 賀弥
徳島大学 大学院医歯薬学研究部 口腔保健教育学分野

基礎系教育講演

座長 長谷川敬展

- 17:50 – 18:20 1.免疫抑制受容体シアル酸結合レクチン Siglec-7 の糖鎖認識機構の解明
2.分泌型シアル酸認識レクチンの関節炎治療薬としての検討
○橋本 登
徳島大学 大学院医歯薬学研究部 組織再生制御学分野

臨床指導講演

座長 石田雄一

- 18:20 – 18:40 周術期管理について 一経口補水液を中心に—
○藤原茂樹
徳島大学 大学院医歯薬学研究部 歯科麻酔科学分野
- 18:40 – 19:00 徳島県における地域包括ケアシステムの現状と課題
○白山靖彦
徳島大学 大学院医歯薬学研究部 地域医療福祉学分野

19:00 表彰式 宮本洋二 会長

19:05 閉会の辞 北畑 洋 副会長

注意事項

● ポスター発表について

- ・ポスターの大きさ 横 90cm×縦 130cm

演題番号(横 20cm×縦 20cm)は大会側で用意(左端)

演題名・発表者名(発表者の前に○印を記入)・所属は、演題番号の右側の横 70cm×縦 20cm の範囲に記載

- ・進行について

14:45-15:00 ポスターおよび発表用スライド受付
(発表者は受付をし、ポスターを所定の位置に掲示してください。また、発表のスライドを USB に入れたものを提出してください。)

15:00 -16:20 ポスター閲覧

15:50 -16:20 ポスター討論

(発表者はリボンをつけて、ポスターの前に立ってください。この時間は、閲覧者の質疑応答に答えてください。)

- ・尚、ポスター発表者は、ポスター討論とは別に例会において、2 分間ポスター発表を行っていただきます。そのため、2 分間で簡潔にまとめたスライドも準備し、受付時に提出してください。発表は進行の都合上、2 分で打ち切らせていただきます。その後、1-2 分の質疑応答に答えていただきます。



- 学部学生発表者の中から優秀発表賞を選考し賞します。

- 特別講演は 講演時間 30 分とします。

- 基礎系教育講演は 講演時間 20 分、討論時間 10 分とします。

- 臨床指導講演は 講演時間 15 分、討論時間 5 分とします。

- 一般講演は 発表時間 8 分、討論時間 2 分とします。

- 講演、発表方法について

- ・発表は液晶プロジェクター、単写とします。
- ・Microsoft 社の Power Point を用いてスライドを作成してください。
- ・コンピューター (Windows PC と Mac) は発表者が御用意下さい。
- ・当日の 9 月 26 日 (木) 14:00~15:00 の間に、動作確認を行ってください。

- 講演、発表後に 400 字程度の抄録をメール(akazawa.yuki@tokushima-u.ac.jp)にご送付下さい。